

No.58 2013, Sep.

9 月・秋 霊祭号

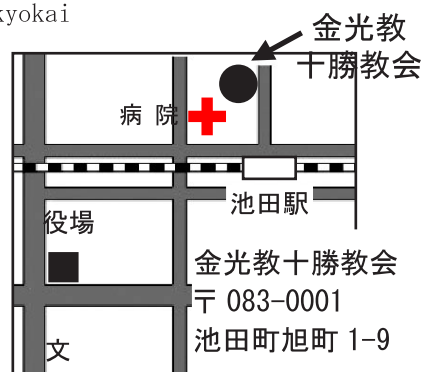
<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>

☎ 015-572-2322
fax 015-572-4213

十勝教会



だより 58



巻頭言

誰もが役割を担っています

ゴハンの時に「いただきます」、「ごちそうさまでした」という言葉を使うのを嫌がる人たちがいます。

その人たちによれば「食事は、自分たちが稼いだお金で賄っているのだから当然だ」ということだそうです。ですから、自分ばかりでなく子供たちが学校で食べる給食も「給食費を払っているのだから、給食費を払う親に感謝はしても、食べ物への感謝や調理してくれるひとへの感謝はしなくてもいい」んだそうです。

たしかに、今の世の中、お金を払えば、あるいは正当な手段を講じれば食べ物にありつくことができます。

そのお金はどこから来たかという点、多くの場合は、お給料という形で支給されたものです。お給料は仕事をしてもらったものです。働いた人がその分お給料をもらい、そのお金で自分たちが食べるものを買う。だから、食べるこ

とができるのは自分が働いたおかげである。

なるほど、この理屈は間違いではありません。実際その通りのところもあります。自分のお金で食べることは労働に対する正当な成果です。しかし残念ながらこの考え方はあまりにも小さな視点、「個人の視点」にとらわれたもののなのです。

○ 食べていくために、お給料をもらうために働く人がいます。会社はその人の働きを評価してお給料を支払います。そしてお給料をもらいお店で買います。そのお店で働く人たちがいます。そのお店に商品を届ける人がいます。さらにその商品を作る人がいます。私たちが食べ物を食べられるまでには多くの人の手間がかかっています。でも、お店の人も、生産する人も生きていくために、食べていくために物を売り、生産しているのでは？

そのとおりです。お店の人、生産者、みんなそれぞれの立場で正當に働くことで、お給料をもらったり代価をもらったりして生きています。

でもそれは、一人ひとりが社会の中で与えられた役割をしっかりと果たしていることに他なりません。作る人、運ぶ人、お店の人、そのうち誰かが抜けても私たちは食べ物を買うことができなくなるでしょう。

お給料をもらって食べ物を買う人も同じです。お給料をもらえるのは、職場、つまり社会で担うべき役割をしっかりと果たしているからに他なりません。つまり、私たちも先ほどの、作る人、運ぶ人、お店の人と同じように「どこか」で「誰か」の役にたっているのです（年金だって今まで社会を支えてきたことへの対価ですね）。

それはとても誇らしいことであり、と同時に、私たちひとりひとりが社会の中で何かしらの役割を担

わされているということにほかなりません。

お店の人、お店まで商品を運ぶ人、商品を作る人、そしてそれを買う人、どれが抜けてもそれぞれの生活は成り立ちません。それぞれの人が、それぞれの立場で自分の役割・仕事をしっかりと担うことで私たちの暮らしは成り立っています。「自分は誰の世話にもなっていない。役にも立っていない」ということはないのです。



実は同じように、私たち人間は、「神様の働きの中、天地の中に生かされる人としての役割を担わされて」います。それは決して難しいことではなく、それぞれそれぞれの生活の中で与えられた自分の役割・仕事をしっかりと担うことに他なりません。

それだけでは今までの話と変わりませんが今度は、「私たちは、神様、天地のお働きの中に生かされている」ということ、つまり「天

地の中での人間の立場」を知っておかなければなりません。

教祖様は初めてお参りされた方に「人間はどうして生まれ、どうして生きているかということをしらねばなりませんなあ」（山本定次郎師の伝え）と問われ、人間は天地の恵み、お働きの中に生かされているのであるということを説かれたそうです。その「天地の働きの中に生かされる人であることを自覚し、その上で人としての役割」を果たしていかなければならないのです。

教祖様が説かれたこのお道の信心とは、天地の中での人の役割を知ること、に他ありません。それは「天地の中に生かされる人としての生き方を知る」ことであります。しっかりと信心を進め、天地の中を生きる本当の人間にならさせていただきますように

教会 日 誌

4月14日 天地金乃神大祭。(写真も)

平成25年4月14日から7月31日まで



教会長・玉串奉奠



参拝者各代表・玉串奉奠



吉備舞奉納 玉置さくらサン・太地クン



講話・東日本大震災ボランティア報告 菊川先生



祭典の後は手作り料理で直会宴。

4月15日 帯広市、M家、葬儀式。16日まで。

4月21日 帯広教会大祭、交流参拝。

4月24日 士幌町、T家、旬日祭。

4月29日 夕張教会大祭・初代教会長夫妻式年祭、衛先生祭主奉仕。

5月3日 北見教会大祭、交流参拝。

5月3日 帯広市、M家、旬日祭。

5月4日 士幌町、T家、旬日祭。

5月12日 士幌町、T家、五十日祭・合祀祭、納骨祭。

5月13日 函館教会大祭、衛先生参列。

5月13日 帯広市、M家、旬日祭。

5月26日 釧路教会大祭、衛先生教話奉仕、交流参拝。

6月1日 境内清掃奉仕。

6月2日 帯広市、M家、五十日祭・合祀祭、納骨祭。

6月2日 士幌町、S家一年法要、千鶴子先生参拝。

6月9日 札幌市、M家式年祭。

6月15日 道東地区教会連合会交流パークゴルフ大会、釧路教会、3名参加。

6月16日 道東地区研修会「神人あいよかけよの生活運動」地区集会、3名参加。

6月17日 帯広市、I家葬儀式、会葬参拝。

6月22日 全国信徒会北四ブロック信心研修会、札幌市、10名参加。みよ子先生奏楽、さくらさん吉備舞奉仕。

6月30日 上半期感謝祭。

7 月 4 日 釧路市、I 家、二柱式年祭。

7 月 6 日 士幌町、T 家、百日祭。

7 月 7 日 網走教会布教 90 年記念大祭、衛先生
祭員御用、9 名参拝。

7 月 14 日 足寄町、S 家、百日祭、納骨祭、奥
城移設建碑式。

7 月 21 日 境内清掃奉仕。

7 月 28 日 歌志内市、Y 家、二柱式年祭。

かみひと
神人あいよかけよの生活運動

願 い

おんとりつぎ
御取次を願ひ頂き

神のおかげにめざめ

お礼と喜びの生活を進め

かみこころ
神心となつて人を

祈り

助け 導き

かみひと
神人の道をあらわそう

写真・境内清掃奉仕（6 月、7 月）
今年は春が遅かったのですが、6 月に入り気温の高い日が
続き、境内の草木もいづもどおり伸びてきました。



写 真

道東地区教会連合会パークゴルフ
大会・研修会

当日はあいにくの雨空。パークゴルフの代わりに室内でレクリエーションを楽しみました。翌日は「神人あいよかけよの生活運動」についての研修会。「運動」の願いについての講話、体験発表などを聞かせていただきました。



写 真 上半期感謝祭

良いことも悪いこともありましたが、何よりそれぞれに半年を過ごさせていただいたことにお礼をさせていただきました。

写真

全国信徒会北四ブロック
信心研修会

毎年全国各地で行われている研修会です。今年は札幌会場のオープニングにさくらサンが吉備舞を披露しました。

講話は大分県日田教会長・堀尾光俊先生。「教祖様のご信心をいただき直して」と題したお話を聞かせていただきました。



全国信徒会北四ブロック信心研修会 講話 CD について

上記の信心研修会での講話
「教祖様のご信心を頂きなおして」
の音声記録が教会に配布されています。
ご希望の方は教会までお問い合わせ下さい。
(約 90 分 MP3 も対応します)



教祖 130 年記念本部生神金光大神大祭へのお供えについて

今年は教祖 130 年のお年にあたり、御本部では 10 月に記念の御大祭が仕えられます。当教会からも奉祝参拝をいたします。つきましては、お供えをことづけられる方は 10 月 4 日までに教会へお届け下さい。

北海深川教会布教 100 年記念祭のご案内

10 月 20 日（日） 午前 11 時

道東地区各教会・関係教会大祭日程

釧路教会	10 月 27 日（日）
北見教会	11 月 3 日（祝）
帯広教会	11 月 10 日（日）
網走教会	10 月 13 日（日）
滝上教会	10 月 6 日（日）
夕張教会	11 月 3 日（祝）
函館教会	11 月 13 日（水）

「金光大神賛仰詞」について

本年は教祖 130 年のお年にあたり「金光大神賛仰詞」の末尾が次のように変わっています。

・・・限りなき神恩^{しんおん}に浴し
 <ここに教祖百三十年のお年^{むか}柄を迎えまつる>尊き御一代^{おんひとよ}
 を偲^{おも}び慕^もいまつりて御徳^{おおみとく}を
 賛^{たた}え仰ぎまつる。

十勝教会これからの祭典行事日程

○教祖 130 年生神金光大神大祭	11 月 17 日（日） 11 時
○大祭前大掃除・大祭打合せ	11 月 10 日（日） 10 時
○平成 25 年 越年感謝祭	12 月 31 日（火） 13 時 30 分
○平成 26 年 元 日 祭	1 月 1 日（水） 13 時 30 分
○平成 26 年 薫別講社年頭月例祭	1 月 5 日（日）
○平成 26 年度信徒会総会・新年会	2 月 9 日（日）

※ 2/11 ではありませんのでお間違いなく